



# 桐生ロータリークラブ週報

2004年

国際ロータリー第2840地区 2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ



## 手を貸そう Lend a Hand

R.I 会長 ジョナサン B. マジアベ

善意というものがないなら  
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。  
職業は金儲けのためでしかなく、  
社会奉仕というも施しにすぎず、  
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 久保田 裕一 幹事 牛 腸 章

クラブ会報・広報委員会 塚越 紀隆・茂木 巖

5月24日号

### 第2478回例会

(5月10日) 第1例会

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1. 点 鐘        | 8. 乾 杯               |
| 2. ロータリー情報アワー | 9. 会長の時間             |
| 3. 国歌斉唱       | 10. 幹事報告             |
| 4. 桐生市歌斉唱     | 11. 委員会報告            |
| 5. 「四つのテスト」唱和 | 12. 卓 話 「花園への道」      |
| 6. 来訪者紹介      | 樹徳高校ラグビー部 監督 悦 永 輝 様 |
| 7. 結婚・誕生祝     | 13. 点 鐘              |

#### ようこそビジター

〈卓 話 者〉 樹徳高校ラグビー部 監督 悦 永 輝 様      〈足 利 R C〉      半田 敏 雄 様

#### ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員会 藤江 聡吉君  
目に青葉 山ほどどきす 初鯉 の5月でございます。  
久保田会長の年度ものこり2ヶ月あまりとなりました。  
各委員会の事業計画は、今月中には全て終了される  
事と思います。したがって、今月は皆さんにおつたえ  
るロータリー情報も特にございませぬ。



#### 誕生祝

吉田 栄佐君 49歳  
篠田 一君 46歳

#### 結婚祝

|            |            |
|------------|------------|
| 町田孝五郎君 41年 | 下山嘉一郎君 39年 |
| 藤井 征夫君 38年 | 疋田 博之君 36年 |
| 坪井 良廣君 28年 | 山崎 達也君 27年 |
| 藤江 篤君 24年  | 近藤 一君 23年  |
| 吉田 栄佐君 22年 | 森 末廣君 15年  |
| 前原 勝君 12年  |            |



#### 会長の時間

5月は皐月、早月、午月、橘月、梅月、両月、授雲月、月  
不見月、早苗月、等約40近くの異称があります。この月  
の初めの午の日即ち端午を、邪鬼を払い暑さの中の健  
康を維持しようと節月に決め端午の節句としました。  
その端午の午を5に変へて5月5日が端午・菖蒲の節  
句となったのです。又5月5日を立夏といいこの頃から  
暑さを感じます。各地の祭りも盛んで、博多どんたく、  
下鴨神社の御蔭祭、神田祭、葵祭、三社祭等があります。  
花はふじ、ほたん、アカシア、しゃくなげ、あやめ等、魚  
は初がつがが始めます。立春から数へて88夜、5月  
始め頃から新茶の茶摘みが始まります。

ゴールデンウィークを利用して女房とオランダベル  
ギーへ行って来ました。後日機会があれば写真をお見  
せしたいと思いますが、旅行中、畑正憲(むつごろう)氏

例会場 桐生倶楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール [Kiryu-rc@ktv.ne.jp](mailto:Kiryu-rc@ktv.ne.jp)

に出会いました。今度絵の本を出すために欧州取材旅行中という事でした。オランダはおだやかな美しい国との印象をうけました。

帰途成田着陸の予定が気流が悪く2度失敗し、一時羽田に避難してから3度目に成田着陸に成功しました。

オランダベルギーは新しい考への国として、世界で唯一安楽死が認められている国で、又公娼制度もある国です。海外へ出て日本を眺めて見ますと、世界の新しい波にもまれている姿をつくづく感じます。

日本は将来、世界の英知を吸収して住み良い立派な国となる事を希望するものであります。

“新緑の運河に風車影並び” 広人

## 幹事報告

○伊勢崎RCより創立50周年記念式典に際する礼状が届いております。

○高崎セントラルRCより、国際RC世界大会記念切手販売のご案内が届きましたので、本日回覧しております。購入希望の方は本日中午に希望購入シート数をご記入下さい。1シートは10枚綴り800円です。

○桐生南、桐生西、桐生赤城、太田の各RCより週報到着。

○次週5月17日(月)例会は優良事業所訪問です。12時から食事、12時半点鐘です。現地集合ですので、お間違えのないようお気を付け下さい。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席(平成16年5月10日):総員63名・出席40名  
平成16年4月19日例会修正出席率:70.59%

### ニコニコボックス

藤井征夫君…約1ヶ月出席委員長が欠席し、岸副委員長・宮本委員に大変お世話になりました。岸田信克君…卓話者に悦永監督をお迎えして、藤井征夫君・森末廣君・吉田栄佐君・町田孝五郎君・下山嘉一郎君・疋田博之君…結婚祝/吉田栄佐君・篠田一君…誕生祝

## 卓話



### 第2478回例会卓話

#### 「花園への道」

樹徳高校ラグビー部 監督  
悦永 輝 様

## 経歴

昭和36年8月1日 誕生  
43年4月 高崎市立北小学校入学  
49年4月 第一中学校入学 野球部  
52年4月 東京農業大学第二高等学校入学  
ラグビー部  
55年4月 東京農業大学入学 ラグビー部  
59年3月 卒業  
4月 東京農業大学第二高等学校  
ラグビー部コーチ就任

59年～ 他 非常勤講師  
群馬女子高等学校(現 高崎健康福祉大学高崎高等学校)等

平成2年10月1日 樹徳高等学校 ラグビー部監督就任  
担当教科 理科(生物)  
15年 県大会ラグビー部初優勝

本日はお招きいただきありがとうございます。樹徳高校ラグビー部監督を務めております悦永輝です。どうぞ宜しくお願い致します。この度は樹徳高校ラグビー部が初の全国大会花園へ出場するにあたり、皆様方には多大なるご援助を頂きましたこと、先ずは御礼申し上げます。ありがとうございます。皆様方も新聞やテレビなどでご存じかとは存じますが、その結果は全国でベスト16。1回戦で岡山代表の津山工業高校、2回戦で新潟代表の新発田高校に勝利し、年が変わり3回戦で埼玉代表の本校の姉妹校でもある正智深谷高校に敗れベスト16となり桐生に戻ってまいりました。本日はこの「花園までの道」と題して、私の自己紹介、ラグビーの指導者を志した訳、そして樹徳高校ラグビー部との出会いとその13年間の道のりをお話させていただければと思います。

私は今回決勝で敗ることができました農大二高でラグビーのプレー、ラグビーの指導方法、選手の育て方と多くを学んできた人間であります。私が大学を卒業したとき、現在は農大二高ラグビー部で部長を務めている伊藤薫氏がコーチから監督へ就任した年でありました。前監督で現在は二高で教頭先生をなさっている小川先生から伊藤を手伝ってラグビー部の強化に力を貸してくれないかという声を掛けていただいたのが23歳の時でした。大学時代はキャプテンを任せてもらったわけですが、うちの大学はキャプテン制をひいていたため、ほとんど就職活動は行っていなかった人間なので、他校で非常勤講師でもしながら1年間だけでも手伝ってみようか、そんな程度の軽い気持ちで引き受けることに致しました。ボックスを担当する伊藤薫、フォワードを担当する悦永輝とはっきりとした分業制でチーム作りを開始しました。

チームは着実に力を付け、その秋全国大会県予選の決勝を迎えます。相手は当時、県内ラグビーを牽引する中原先生率いる高崎高校でした。試合終了ラスト3分までリードするもののスクラムトライを奪われ逆転されまさかの敗退。皆さんご存知の通り、スクラムとはフォワードの力の表現であるわけですから、フォワードコーチとしては大変きつい敗戦でした。現役のプレーヤーのときも1度もなかったことでしたが、その後、家で風呂に浸かりながら涙したことをよく覚えております。悔しい、その思いは今も決して忘れることはありません。この悔しさが私のラグビー指導者の原点になったことは言うまでもありません。その負けた夜、伊藤監督と酒を酌み交わし全国で通用するフォワードが作れるまでコーチ続けさせてもらいたいとお願いをして、新チーム作りが始まりました。東京の本郷高校、埼玉の熊谷工業、秋田の秋田工業、当時強力フォワードと言われたチームを徹底的に研究し、自分の武器にするんだと必死になっていたことも今は大変懐かしく思えます。

---

その結果、次の秋、強力フォワードを引っさげて県制覇し、農大二高の18連覇が開始するわけであります。5連覇を達成したとき、もう自分の仕事は終わったなと感じ、他の仕事にでも付き、落ち着こうかなと思っていた29歳の春、思わぬところから声がかかり私の人生に大きな転機が訪れます。それが桐生の樹徳高校だったわけであります。

3月に一度声を掛けていただいたときは、私自身の決心がつかず、曖昧な形で話は流れてしまいましたが、8月に再度声を掛けていただいたときは、桐生のキンケンの社長、当時県ラグビー協会理事長であった金子宏様の紹介で、樹徳高校学校長星野幸一先生に初めてお会いしたのが9月の初めでした。校長先生の第一声は東毛地区に県を代表するラグビー部を作ってみませんか、という言葉でした。私もまだ若く考えが浅い部分もあり、情熱さえあれば必ず県代表チームが作れると、安易に早くも5年、遅くとも10年あれば作ってみますと約束してしまいましたが、実際には1000日も遅れてしまいわ大変いかげんな約束をしたと、今は反省しているところであります。

今回、樹徳高校ラグビー部の優勝までには3回の周期がありました。その第一周期は第1期生から第4期生までがそれに値します。この第一周期に名前を付けるなら“スパルタの時期”と言えると思います。平成2年10月1日初めて樹徳高校の講堂の壇上から「さあ、ラグビーをやろう」そう声を掛け1年生15名、2年生2名が集まってきたわけですが、ついこの間までは全国大会で暴れ回る選手たちの指導から、今度はパスもルールも全く何も知らない、初心者17名の指導に変わったわけですから本当に苦勞させられ、始めたばかりなのに焦りを覚えたことを思い出します。しかし、樹徳高校ラグビー部の土台は俺たちが作るんだという信念で、必死に食らい付いてくるこの一期生は私の大きな財産だと今も感じております。その結果3年生の最後の全国大会県予選はベスト8まで勝ち上がることができ、2年間でよくここまで力を付けたなと感心させられた学年でもありました。それを引き継いだ第二期生は春の高校総体で関東大会出場をかけ、高崎商業をあともうひとつまで追いつめます。しかし、僅差で惜しくも敗れてしまいましたが、一期生の頑張りを引き継いだ好チームになってくれました。そして、第三期生、すばらしい体格と身体能力をもった選手が集まり、初めて優勝を狙えると感じるチームを持つこととなります。その結果は準優勝で農大二高に10対36で敗れてしまうわけですが、優勝まではあと一歩だなと手応えを感じた学年でした。第四期生はその勢いで、新人大会で初の決勝進出を果たすも、秋の全国大会県予選では農大二高を意識するあまり、準決勝で前橋高校にまさかの敗退してしまいます。しかし、ここまで県内に樹徳高校ラグビー部の存在を示し、農大二高を脅かす存在になってきたことは間違いありませんでした。

ここまでが、第一周期であります。ここまでの指導は先ほど述べたように、私の若さに任せたまらなラグビーだったといえます。それだけに、この時期の子供たちが今回の優勝を心から喜んでくれていることはいちまでもないことと思います。

では、何故第二周期に入っていくのかと申しますと、一気にチーム力が低下してしまうからです。第五期生は6名と大変人数が少なく低学年の選手たちを、当てにしないといけないチームになってしまいました。本校のラグビー部は中学時代のラグビー経験者は殆どいないため、一人一人が力を付けるためには長い時間を必要とし、指導していくので低学年中心のチームではとても優勝を狙えるチームになることができません。従ってこの第五期生から第九期生までが第二周期となります。しかし、この時期に私自身の指導に変化がでてきた時期でもありました。どのような変化かと申しますと、第一周期から第二周期になると結婚をし、我が子が誕生したことに大きな原因があったように思えます。女房の存在は生活が規則正しく成った程度でありましたが、子供の存在は部員たちとの接し方に大きな変化をもたらしました。それまでは、普段の生活面からグラウンドに至るまで間違っただけに対しては厳しく接するだけの監督でしたが、この頃から部員たちがミスをして注意、指導するときに“ああ、こいつらにも親がいるんだよな。”そんな気持ちでもち接するようになり、プレーの指導でも、生活面の指導でも、待つこと、許すことが芽生え始めてきた時期でありました。しかし、チームの結果は第五期生はベスト8で前橋高校に敗れ、続く第六期生もベスト8で県立高校に敗れ低迷期を迎えます。このまま、俺のラグビーも終わってしまうのかなと感じたそのとき、第七期生の重量フォワードが出現致します。春の高校総体で活躍をし、本校初の関東大会出場、秋の大会でも見事決勝へ進出し、農大二高に敗れはしたものの、樹徳ラグビーの復活の兆しを見せてくれた学年となりました。負けるものかと新たに情熱を傾け、第八期生で臨む大会準決勝で、またしても農大二高に跳ね返され、10対61で大敗します。何か足りないと感じ始めたのはこの頃からでした。第九期生は大変すばらしいリーダーシップをとれるキャプテンの存在で、優勝を狙うぞ、そんな雰囲気を持ち、日頃から練習を行っていました。そして、この学年で何が足りないのか、という答えを求めて、今年全国大会3連覇を成し遂げた大阪の啓光学園ラグビー部に初めて遠征に出かけることとなります。私自身は、そのときは遠征に何かを得たとは、感じませんでした。後にとんでもないものを以って帰ってきたことに気がきます。選手たちは選手たちなりに何かを掴んだようで大会に臨みましたが、結果はやはり農大二高に15対36で敗れてしまいます。しかし、チーム力を大きく前進させたすばらしい学年でした。

ところが、このあと、またしても部員不足になってしまいます。ここからが第三周期の始まりです。

第10期生はなんと歴代の中で最も少ない5名という人数になってしまい、力不足であることは認めざるを得ません。がここで、第二周期開始と同様に低迷期を迎えてたまるかと、第一周期・第二周期で得た経験をフルに使い部員たちと猛練習に励みます。その結果第10期生はベスト8で終わってしまいますが、第11期生は決勝まで進出し、第二周期の力は途切れることなく第12期生へとバトンを渡します。そして、昨春秋念願であった全国大会初出場を果たすことになるわけであります。

ここから初優勝した第12期生チームについて少しだけお話をさせていただきたいと思うのですが、この学年は入学時より、中学時代は大変やんちゃ坊主と言われる子供たちの集団でありました。昔の私なら厳しく指導するだけでしたので、彼らの何人かは指導に耐えられなくなり、退部してしまっていたと思います。しかし、先ほどお話したように、待つこと、許すこと、の大切さを我が子から学んだわたしは、彼らと根気強く付き合うことに心がけました。その結果驚いたことにその気持ちが伝わると、そのやんちゃ坊主たちは伝染するように私を信じ、しっかりした高校生活、しっかりしたラグビーの取り組みをみせてくれるではありませんか。さらに、驚かされたのは、その集団はすばらしい身体能力をもった選手が多数いたことでした。

第12期生の初めての大会、新人大会は準決勝で前橋高校に敗れたものの、3月の7人制大会では農大二高を敗り、初優勝。5月に行われた高校総体では決勝で農大二高に敗れるものの準優勝し、関東大会へ出場、と結果をだしていきます。しかし、ここまでは、例年のチームとさほど変わらない結果であり、その決勝戦の得点差は50点ありました。今までのチームで秋に農大二高と対戦したとき、優勝を目指したときのチームは20点差、それ以外のチームのときは、50点差で必ず敗れています。常に農大二高を敗ることを考えていたため、攻撃力をアップさせることを前提に練習してきた本校ラグビー部でしたが、ここで初めて農大二高に敗れることがなければ勝てるのではと、発想の転換をしました。この考えに大きなヒントを与えてくれたのが、実は先ほど名前を出した大阪の啓光学園のラグビーであったわけであります。大阪に行ったときその高校のコーチが、うちは8月まで殆どディフェンス練習で、アタック練習は9月に入ってからやる程度だよ。と聞かされたことを思い出したのです。そのときは、啓光学園は中高一貫で6年間プレーする集団だからできるのだらう、くらいにしか考えてみませんでした。

しかし、今年のチームは身体能力の高い選手が多く、攻撃は黙っててもできるだろうから、それならば一度組織ディフェンスに時間を費やして秋にチャレンジしてみようと思いついたわけであります。その後はディフェンス強化を中心に練習に取り組んでいくわけですが、全く答えがでてきません。6月駄目。7月駄目、8月駄目、そんなことをしているうちに9月に入り、全国大会県予選の準備に入るための練習試合を考えなくてはならない時期になってしまいました。考えた結果、栃木の作新学院、茨城の常総学院、埼玉の所沢北を相手に選びました。3校ともに各県を代表するに値するであります。しかし、その結果は何と、55対0、90対7、70対0、と全く相手にしない勝利で、しかもトライは常総学院に許した1トライだけの完璧なディフェンスの勝利でした。このとき何ヶ月もの練習が実を結んだことを確信し、秋の全国大会県予選に臨むこととなります。

準々決勝伊勢崎興陽高校に116対0で完勝、苦戦が予想された準決勝前橋高校を57対7で一蹴し、決勝農大二高に16対12で守り勝ちをして優勝することができました。この瞬間群馬県高校ラグビー界の長い長い一強多弱時代のピリオドが打たれたわけであります。しかし、ここまで到達したことは、決して私一人の力で

はなく、部長の岩崎教諭、卒業生の花房コーチまた、数多くのOBや保護者の方たちと数え切れない人々の力のおかげだと考えております。そして、何よりも私を信じ、13年間もチームを預けてくれた星野幸一先生には心から感謝をしております。本当にありがとうございました。これからさらに力をつけもっと魅力ある高校ラグビーチームが作れるように精進していきますので今後とも樹徳高校ラグビー部をどうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。

以上

## メークアップ情報

### ..... 例会変更 .....

桐生西RC  
5月28日(金) → 職場訪問のため  
点鐘:12時30分  
場所:ぐんま昆虫の森

桐生中央RC  
6月3日(木) → 早朝清掃のため  
点鐘:午前6時30分  
場所:渡良瀬川河川敷

桐生赤城RC  
5月25日(火) → 早朝健康診断のため  
点鐘:午前7時00分  
場所:桐生メディカルセンター  
6月1日(火) → 早朝例会のため  
点鐘:午前6時00分  
場所:崇禅寺

\*メークアップは前後2週間です\*前メークをしましょう\*

### ~近隣クラブの例会日~

**月曜日**  
(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)  
伊勢崎東 シンフォニー 12:30 0270-30-3344

**火曜日**  
(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)  
桐生赤城 桐生プリオパレス 12:30 0277-30-3321  
伊勢崎南 プラザ・アリア 12:30 0270-23-1111

**水曜日**  
(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)  
桐生南 大安閣 12:30 0277-45-2875  
伊勢崎 ザ・クレインパーク 12:10 0270-24-9966

**木曜日**  
(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)  
桐生中央 桐生プリオパレス 12:30 0277-77-0075  
足利西 足利銀行葉鹿支店 12:30 0284-62-1111  
伊勢崎中央 ニューいずみ 12:10 0270-20-6000

**金曜日**  
(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)  
桐生西 桐生プリオパレス 12:30 0277-22-9155  
群馬境 群馬銀行境支店 12:10 0270-74-4099

紙面の都合により「第2479回」は次号掲載とさせていただきます。